

## 第三十三回フオト句会優秀作品(25年10月14日)

<自由題>



古武士然 肩肘張って  
立ち枯れる 三春

寸評: いますいます。誰に対しても  
変に肩肘張って付き合いの悪い人  
が。それでいて「なぜか周囲の者が  
俺を敬遠する」とこぼしつつ立ち枯  
れる人。作者はそんな人ではない

イケメンも年を経ずして  
枯れ落葉 中村 晃也

寸評: 若いうちは、華やかな生活  
を謳歌していても、年をとれば遅か  
れ早かれ身体から脂肪分と水分が  
抜けて枯れ落葉になり、やがて濡れ  
落ち葉へ。(イケメンでなくても)



何処であれ笑っておれば  
極楽じゃ 池田 隆

寸評: 割れた窓からの布袋さんの  
笑い顔。変てこな場面を撮り、句  
を赤い字にした作者のセンスは  
尋常ではない。人生笑ってばかり  
じゃやっていけないのに!



酔眼朦朧

嗚呼 六三四 黒澤 弘子

寸評：スカイツリーが酔っているのか、見る人間が酔っているのか、いずれにしても珍しい絵ですね。六三四は武蔵の国とツリーの高さ634メートルとかけている。画像と漢字だけの句ガよくマッチしている傑作です。



廃線や はじけたバブルの

墓標立つ 大月 和彦

寸評：草ぼうぼうの錆びた鉄路。覆いの被さった遮断機。バブル時代のサラリーマンとしては自分の墓標を見ているような哀感を感じます。欲を言えば、より楽しい明るい題材を取り上げていただきたいのですが。

深山に 夫婦檜の

タンゴかな 安藤 晃二

寸評：深い森でダンスをしているとの見立ては面白い感覚だ。太い腕の男性？の方は腰が引けていて、これではタンゴは上手く踊れない！今更タンゴなんか踊る気力もないが・・・。



句 付 け

9月の御題写真



真似てみて筋力低下を思い知る 三 春

甘い汁吸ったつもりが苦汁舐め 三 春

蚊はボヤク 蝶は吸っても叩かれぬ 池田 隆

昼と夜 蝶の立場は大違い 下山 健夫

寸 評：今月の御題写真は、三春さん出題の清楚な揚羽蝶の写真です。

三春さん：写真を提供した張本人。さすが二句とも入選です。

（一句目）蝶になった積もりで家の鴨居にブラ下がったが自身の体重を支えかねた。体重のせいと思わず筋力低下が原因と自分で納得するおおらかさを買いたい。

（二句目）甘い夢をみて株を買ったが、オバマのせいで価格が下がってしまった。人生いいことばかりではないという反省の弁。

池田さん：人生は公平ではない。と言っても残り蚊にはなりたくはないが・・・

蚊と蝶の意外な取り合わせが絶妙です。

下山さん：さすが、華やかな夜の生活に慣れた方の理解ある発言ですな。

句に切れがあって軽快、軽妙な味があります。